

学校の教育目標	豊かな人間性と たくましい創造力をそなえた 心身共に健全な子どもの育成
---------	-------------------------------------

学校経営の重点	評価指標	自己評価	結果の考察・分析、及び改善策等	学校関係者評価	
				評価	コメント
確かな学力の定着と向上	学習のきまりを守り、宿題や読み声、家庭学習に進んで取り組んでいる。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT を効果的に活用した授業改善に取り組み、児童がタブレットのよさを実感するようになり、主体的・対話的で深い学びが確立されつつある。</li> <li>学力テストの分析で、読解力に課題があることが分かった。国語の授業を核に、教育活動全体で読解力を向上させていく手立てが必要である。</li> <li>家庭学習の取組は個人差が大きい。家庭での音読や読書の重要性を保護者と共有し、協力して取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力テストの結果等から、個別指導の成果が表れていると言える。</li> <li>他校と比べ、本校児童の学力の状況がどの程度なのか気になるところである。</li> <li>家庭学習の取組は、個人差が大きい。また、宿題が少ない学年がある。学校と家庭が連携していくことが必要である。</li> </ul>
	主体的・対話的で深い学びができる授業を創造したり、読書量を増やしたりする工夫をしている。				
	小規模校ならではの個に応じた学習指導に取り組んでいる。(遠隔授業の導入・タブレットの活用等)				
豊かな人間性の育成	道徳を中心とした心の教育により、規範意識と人権意識を高めている。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度から SWPBS の取組を始め、特に「ボランティア」「あいさつ」に力を入れた。望ましい行動について児童と目標を共有し、支援してきたことで、ボランティアやあいさつがよくなってきている。現在、いじめ・不登校の認知件数は0件である。今後も悩みアンケート、教育相談を実施し、早期発見・対応を図っていく。</li> <li>これまで、コロナ禍で実施できなかった体験活動が、本年度はある程度実施できた。様々な交流をとおして、児童のコミュニケーション力の向上につながった。</li> </ul>	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前より児童の元気が低く感じる。生活習慣は、家庭で確立することが基本であるが、難しい面もある。今後も学校と家庭が十分連携して取り組む必要がある。</li> <li>あいさつに個人差がある。基本的にあいさつも家庭の問題ではあるが、学校・家庭・地域が一体となって、元気なあいさつができる児童を育てる必要がある。</li> </ul>
	児童が自分から進んで、元気のよいあいさつができるよう指導している。				
	様々な体験活動を通して、協調性やコミュニケーション力が伸びてきている。				
健康で安全な学校	児童一人一人に合った体力づくりに取り組んでいる。(体力向上プランに基づく体力づくり)	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度は、学校保健委員会で全児童・保護者を対象に、県メディア安全指導員の講話「メディアと健康」を実施した。スマホやゲームの使いすぎによる弊害を知った上で、メディアとの上手な付き合い方について学びを深めることが出来た。</li> <li>体力向上プランを元に、個々の課題に応じた手立てを講じてきたことで、全体的な体力の底上げができた。</li> <li>様々な場合を想定して避難訓練を工夫して実施したことで、安全への意識の向上を図った。</li> </ul>	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマホやゲーム等の使用は、基本的には家庭の問題であるが、これらの上手な使い方については、学校からの啓発が必要である。</li> <li>体力向上には、体育の授業を充実させ、それぞれの課題に応じた対策を続けていくことが必要である。</li> </ul>
	基本的な生活習慣のもと、健康や安全に気を付けて生活している。				
	安全点検や避難訓練の充実等を通して、危機回避能力の向上に取り組んでいる。				
地域に開かれた学校	地域の力を活用した学習や学校行事等を通して、ふるさとを大切に思う児童が育っている。	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>参観日やいもほり等、地域の方々と楽しく交流して、心も育つ時間となっている。</li> <li>学校便りやマチコミメール・タイムラインによる情報発信、ホームページ内の学校日記・行事予定の更新をこまめに行い、学校の様子を知らせることができた。</li> </ul>	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>えびの学や地域素材を生かした学習は、豊かな心を育み、ふるさとを大切に思う児童を育てる上でも効果的である。</li> <li>コロナ禍で以前に比べ、地域との交流が減っていたが、徐々に交流ができるようになってきた。</li> </ul>
	授業参観や各種通信、HP、まちコミメール配信などで適宜学校の様子を知らせている。				

評価は4段階（4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する）